

# 平成28年度 新潟市図画工作部 活動報告

部長 能村 晶子

## 1 研究主題

「もっと自由に もっと楽しく 図画工作の授業改善」  
～子どもが「みる」「感じる」「やってみる」「かかわる」授業をつくる～

## 2 研究の概要

昨年度までの3年間、目指す子どもの姿に迫るための働きかけとして、「みる活動」を学習過程の中に位置付け研修を重ねてきた。「みる活動」が感性を働かせるきっかけになり、自分の思いを豊かに表すための有効な働きかけになると確認できた。そこで今年度は学習指導要領の改訂も見据え、研究主題を「もっと自由にもっと楽しく図画工作の授業改善」と設定し、「みる」「感じる」「やってみる」「かかわる」をキーワードに実践研究に取り組むこととした。

## 3 研究の実際

- (1) 講演会 7月6日(水) 於；新潟市こども創造センター  
演題 「指導要領改訂直前！これからの図画工作指導」  
講師 聖徳大学 副学長・児童学部長・教授 奥村 高明 様

- (2) 美術館鑑賞研修 於； 新潟市新津美術館  
・学芸員によるワークショップ ～アートカード体験～

- (3) 授業研究

### 【11月】

北区 南中野山小学校 2年 「ときめきコンサート」  
授業者 渡邊ゆかり 教諭

秋葉区 新津第二小学校 5年 「ニイガタ・アート・カード  
をつくろう」  
授業者 藤崎久美子 教諭



### 【12月】

中央区 沼垂小学校 6年 「味わおう！表そう！日本の和の美術」  
～墨DEアート～  
授業者 阿部真由子 教諭

西蒲区 巻北小学校 4年 「光とかげから生まれる形」  
授業者 森林 直美 教諭



## 4 成果と課題

授業者4名は「みる」「かかわる」「感じる」「やってみる」活動を授業の中に設定した。協議会はファシリテーション方式で、子どもの具体的な姿やその姿になった働きかけの有効性について、部員による活発な話し合いがなされた。また、今年度は美術館との連携の一環として、秋葉区の授業で学芸員をゲストティーチャーとして招いた。このことが子どもたちへの意欲づけになったとともに、活動の跡が美術館の展示とコラボして飾られるなど新たな連携の形が見えてきた。来年度は、重点教科として今までの研究の成果をまとめていくとともに、自分の思いを豊かに表すことのできる子どもを目指し授業のさらなる改善を図っていきたい。